

# 地震が起きたら、その2

## 1 家に帰るとき

大きな地震が起これと、電車やバスなどが止まる  
ことがあります。急いで家に帰ろうとしないで、会社や  
学校など安全な場所でしばらく待ってください。大勢の  
人が同じ時間に帰ろうとすると、道や駅などが混んで  
危険だからです。テレビやインターネットなどで調べて、  
安全だとわかってから帰りましょう。

## 2 家族や友達に連絡するとき



地震のあとは大勢の人が電話を使うため、家族や  
友達に連絡しにくくなります。電話番号 171 の

「災害用 伝言 ダイヤル」を 使うと、会話は できなくても  
メッセージを録音したり、聞いたりすることができます。  
携帯 電話 会社の「災害用 伝言板」などでも メッセージを  
送ることができますから、使い方を調べておきましょう。

### 3 家で生活ができないとき

建物が壊れたりして家で生活ができなくなった場合、  
市や 町などが 決めた「避難所」に しばらく いる ことが  
できます。大勢の人と一緒に生活をしますから、健康に  
気をつけましょう。

狭い場所で長い時間体を動かさないと、「エコノミー  
クラス症候群」という病気になることもあります。車の中  
で生活をする人は特に気をつけましょう。

## Vokabular

### Bitno

急いで <sup>1</sup> <i>izraz</i> • u žurbi, žurno	いそいで	生活 <i>imenica, suru-glagol</i> • život (svakodnevni)	せいかつ
安全 <i>imenica, na-pridjev</i> • sigurno	あんぜん	壊れる <i>glagol (一)</i> • razbiti se, slomiti se	こわれる
大勢 <i>imenica, no-pridjev</i> • puno ljudi	おおぜい	場合 <i>imenica(priložna)</i> • situacija, slučaj	ばあい
危険 <i>imenica, na-pridjev</i> • opasnost	きけん	決める <i>glagol (一)</i> • odlučiti	きめる
連絡 <i>imenica, suru-glagol</i> • kontaktiranje	れんらく	一緒に <i>prilog</i> • zajedno	いっしょに
用 <i>imenica</i> • posao, namjera	よう	気を付ける <i>izraz</i> • paziti	きをつける
会話 <i>imenica, suru-glagol</i> • razgovor	かいわ	特に <i>prilog</i> • posebno	とくに
送る <i>glagol (五)</i> • poslati (stvar), ispratiti	おくる		

## Ostalo

家 <i>imenica</i> • kuća	いえ	場所 <i>imenica</i> • mjesto	ばしょ
帰る <i>glagol (五)</i> • vratiti se	かえる	待つ <i>glagol (五)</i> • čekati	まつ
大きい <i>i-pridjev</i> • velik	おおきい	同じ <i>imenica, prilog</i> • isto	おなじ
地震 <i>imenica</i> • potres	じしん	時間 <i>imenica</i> • vrijeme	じかん
起こる <i>glagol (五)</i> • dogoditi se	おこる	道 <i>imenica</i> • put, cesta	みち
電車 <i>imenica</i> • vlak	でんしゃ	駅 <i>imenica, brojač</i> • stanica	えき
止まる <i>glagol (五)</i> • stati	とまる	込む <i>glagol (五)</i> • nakrcati se, biti krcat	こむ
会社 <i>imenica</i> • tvrtka	かいしゃ	調べる <i>glagol (一)</i> • istražiti	しらべる
学校 <i>imenica</i> • škola	がっこう	家族 <i>imenica</i> • obitelj	かぞく

友達 <i>imenica</i> • prijatelj	ともだち	伝言板 <i>imenica</i> • ploča za poruke	でんごんばん
電話 <i>imenica, suru-glagol</i> • telefon (-ski poziv)	でんわ	使い方 <i>imenica</i> • način korištenja	つかいかた
使う <i>glagol (五)</i> • koristiti	つかう	建物 <i>imenica</i> • građevina	たてもの
電話番号 <i>imenica</i> • broj mobitela	でんわばんごう	市 <i>imenica, sufiks</i> • grad	し
災害 <i>imenica</i> • katastrofa	さいがい	町 <i>imenica</i> • manji grad	まち
伝言 <i>imenica, suru-glagol</i> • poruka	でんごん	避難所 <i>imenica</i> • sklonište	ひなんじょ
録音 <i>imenica, suru-glagol</i> • audio sadržaj	ろくおん	健康 <i>imenica, na-pridjev</i> • zdravlje	けんこう
聞く <i>glagol (五)</i> • čuti	きく	狭い <i>i-pridjev</i> • skučeno, usko	せまい
携帯電話会社 <i>imenica</i> • telefonska kompanija	けいたいでんわがいしゃ	長い <i>i-pridjev</i> • dugačko	ながい

体

*imenica*

- tijelo

からだ

病気

*imenica, no-pridjev, suru-glagol*

- bolest

びょうき

動かす

*glagol (五)*

- pomaknuti

うごかす

車

*imenica*

- automobil

くるま

エコノミークラス症候群

えこのみいくらすしょうこうぐん

*imenica*

- sindrom ekonomske klase

中

*imenica*

- unutar, sredina

なか

---

<sup>1</sup>急いで je u osnovi て oblik od 急ぐ, ali se često u rječniku navodi kao izraz za sebe zato što se često koristi u ovom obliku

## Zadaci

1. Sažmite tekst u najviše dvije rečenice.

---

---

---

2. Razgovarajte o tekstu.

## Domaća zadaća

1. Napišite kratku priču ili par rečenica koristeći riječi iz kutije ispod:

安全 ・ 連絡 ・ 会話 ・ 送る ・ 一緒に ・ 特に

Rečenice ili tekst ne moraju nužno biti vezane uz samu vijest.

2. Odgovorite na pitanja:

- (i) どうして記事<sup>きじ</sup>は急<sup>いそ</sup>いで家<sup>いえ</sup>に帰<sup>かえ</sup>ることをお勧め<sup>すす</sup>めしないのですか？  
(ii) どこで情報<sup>じょうほう</sup>を集<sup>あつ</sup>めることができますか？  
(iii) どの様<sup>よう</sup>に家族<sup>かぞく</sup>や友達<sup>ともだち</sup>と連絡<sup>れんらく</sup>をとることができますか？  
(iv) どうして避難<sup>ひなん</sup>所<sup>じょ</sup>にいる時健康<sup>けんこう</sup>に気<sup>き</sup>を付<sup>つ</sup>けなければなりませんか？  
(v) エコノミークラス症候群<sup>しょうこうぐん</sup>はどういう病<sup>びょう</sup>気<sup>き</sup>なんですか？

3. Nadopunite sljedeće rečenice riječima iz kutije ispod:

用 ・ 一緒に ・ 安全 ・ 特に ・ 壊れて ・ 急いで ・ 電話

- (i) \_\_\_\_\_ うちまで武君<sup>たけしくん</sup>を連<sup>つ</sup>れてくれ。  
(ii) ファイアーウォールがインターネットの\_\_\_\_\_を保障<sup>ほしょう</sup>する。  
(iii) 花子<sup>はなこ</sup>ちゃんは警察<sup>けいさつ</sup>に\_\_\_\_\_します。  
(iv) 鈴木<sup>すずき</sup>先生<sup>せんせい</sup>に何<sup>なん</sup>の\_\_\_\_\_？  
(v) 酷<sup>ひど</sup>い目<sup>め</sup>にあいたくないなら、武君<sup>たけしくん</sup>と\_\_\_\_\_に関<sup>かか</sup>わらない方<sup>ほう</sup>がいいです。  
(vi) 貴重<sup>きちよう</sup>な花瓶<sup>かびん</sup>が\_\_\_\_\_武君<sup>たけしくん</sup>は困<sup>こま</sup>っている。  
(vii) 親<sup>おや</sup>と\_\_\_\_\_住<sup>す</sup>むのがとても不<sup>ふ</sup>便<sup>べん</sup>です。